

YAKINIKUSAKAI HOLDINGS  
株式会社焼肉坂井ホールディングス

# 第66期 事業報告書

【 2024年4月1日~2025年3月31日 】



# 「リブランディング」の加速化、 そして“笑顔を作る食の総合カンパニー”へ

## 前期の振り返り

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援とご厚情を賜り、ここに厚くお礼申し上げます。

前期(2024年度)を振り返りますと、外食産業全体にとって、大きな変化と試練の年でありました。インバウンド需要の回復が追い風となる一方、仕入れ価格の高騰、人手不足の深刻化、さらには外食企業の倒産件数が過去最多を記録するなど、依然として厳しい事業環境が続いています。

このような状況下において、私たちは「QSC(品質・サービス・清潔さ)」のさらなる徹底を軸に、価格の適正化、そしてメディアやSNSを活用したプロモーション強化に注力し、お客様に“選ばれる店舗”づくりに誠実に取り組んでまいりました。

また、前期は当社にとって「リブランディング元年」とも言える一年となりました。69のブランドの中でも、「おむら

穴」など複数の業態で、ロゴや店舗デザイン、メニュー構成の見直しなどを含む、本格的なブランド再構築を進めました。変化の激しい市場環境において、ブランドの個性をより鮮明にし、新たな価値を創出する取り組みです。

第66期の連結経営成績は、売上高235億33百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益4億68百万円(前年同期比11.5%減)、経常利益4億28百万円(前年同期比29.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては減損損失3億44百万円、事業撤退損6億93百万円などの計上により、△6億13百万円(前年同期比は親会社株主に帰属する当期純利益2億35百万円)となりました。引き続き、収益性と成長性の両立を目指してまいります。

## 食の総合カンパニーとして

焼肉坂井ホールディングスは創業65周年を迎えました。この節目にあたり、当社が長年にわたり築き上げてきたブ

ランドの価値を、あらためて見つめ直す機会と捉えております。現在、当社が展開するブランドのうち、50年以上の歴史を持つものが6ブランド、30年以上継続しているものが15ブランドにのぼります。これは、単なる継続ではなく、お客様から長年にわたりご信頼とご支持をいただいていた証だと考えております。

また、当社が展開するブランドは、「焼肉」「寿司」「居酒屋」「和洋食レストラン」など、日本の食文化を多面的に支える構成となっており、外食企業の中でも極めて多様性に富んだ業態ポートフォリオを有しております。

今期は、「食を通じて笑顔を作る」を当社の理念として新たに掲げ、お客様はもとより、従業員、取引先、地域社会など、当社に関わるすべての方々にとって価値ある存在となれるよう、「食の総合カンパニー」として、唯一無二の存在を目指し、挑戦と進化を重ねてまいります。

こうした取り組みの積み重ねが企業としての持続的な成長につながり、株主の皆様安心して中長期的にご支援いただける企業であり続けることにつながると確信しております。

引き続き、焼肉坂井ホールディングスへのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

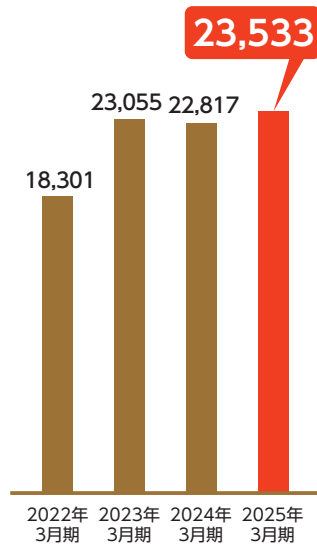


代表取締役社長 高橋 仁志



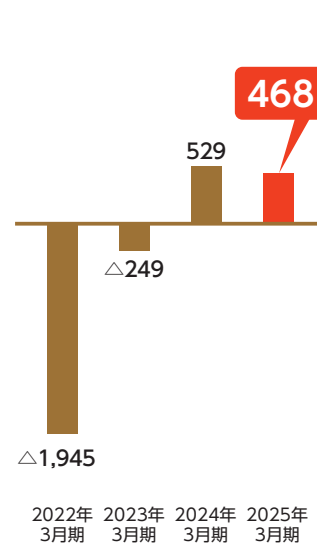
## 売上高

(百万円)



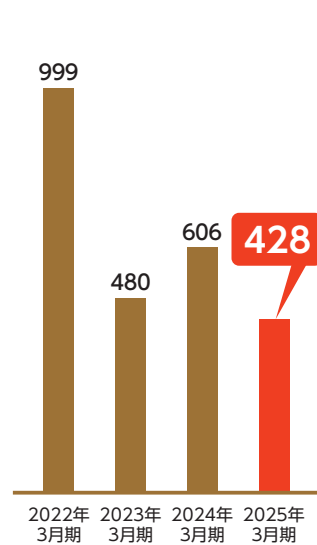
## 営業利益

(百万円)



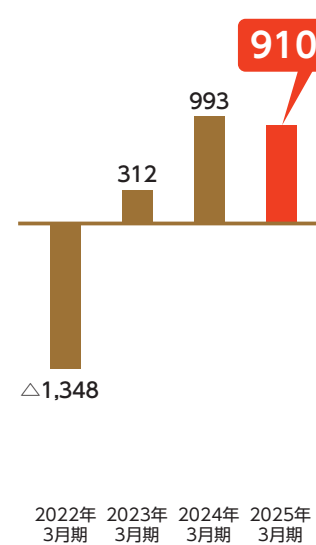
## 経常利益

(百万円)



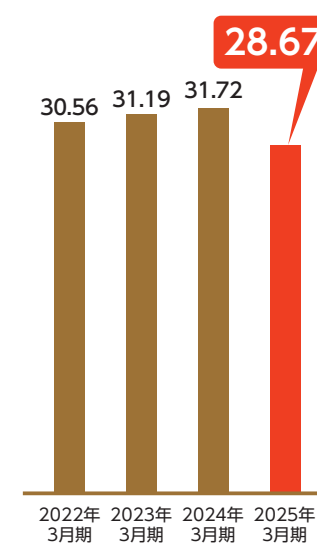
## EBITDA

(百万円)



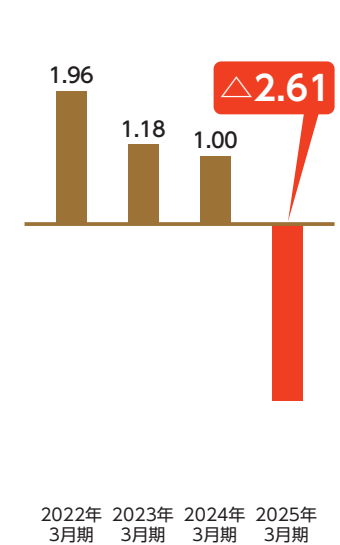
## 1株当たり純資産

(円)



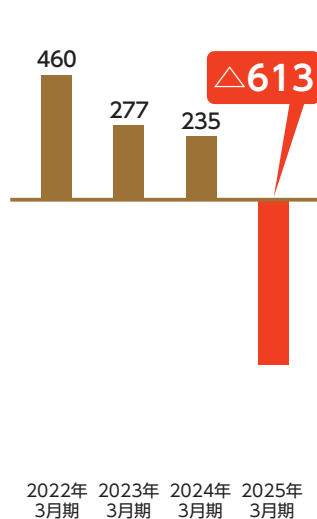
## 1株当たり当期純利益

(円)



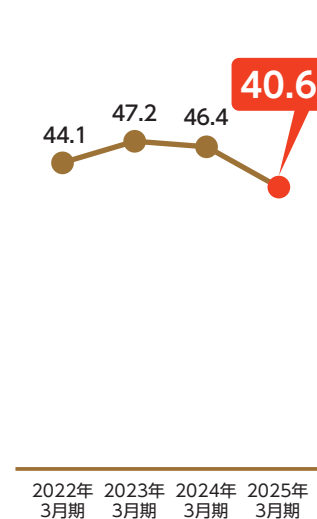
## 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



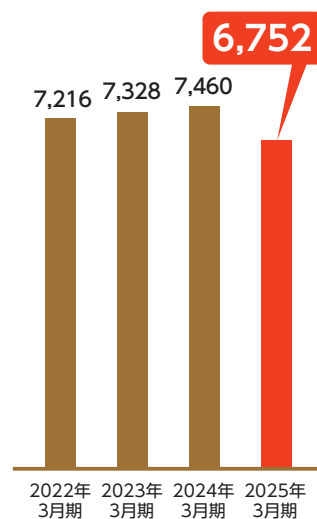
## 自己資本比率

(%)



## 純資産

(百万円)



## 第66期における主な変更点

Major Changes in the 66th Fiscal Period

### 1. 特別株主優待券利用可能店舗の追加

特別株主優待券のご利用店舗数が9店舗から18店舗へ拡充いたしました。

新たに追加された店舗 (施設) ※2025年4月末現在

- ・愛知県：山人昔楼、KTY FACE GYM名古屋栄店 (顔筋トレーニングジム) ※1
- ・静岡県：YOSHI-魚-ter※1、SUMIBI STEAK 藤間※1
- ・香川県：本場讃岐うどん たも屋 (4店舗)
- ・海外：Dallas Café&Barシンガポール マリーナベイ・サンズ店※1

※1 当社親会社のジー・コミュニケーショングループの店舗 (施設)

### 2. 「ジャンボおしどり寿司」5店舗をグループ会社株式会社丸七が営業権譲受

神奈川県下に回転寿司店を展開する「ジャンボおしどり寿司」5店舗を、当社グループ会社で、同じく神奈川県下に11店舗海鮮居酒屋を運営する株式会社丸七が事業を取得し、2024年4月1日より運営を開始いたしました。

### 3. 山口県自社工場における食品加工事業の廃止

自社工場の施設老朽化、人材の採用難などを総合的に検討した結果、経営資源集中の観点から2025年3月31日付にて食品加工事業を廃止いたしました。

# 主なりブランディングの取り組み

## 日常食業態 / FF・R 事業部

おむらいす亭、長崎ちゃんめん、アンニョン、あげてんや



売上 前期比 **112.3%** 経常利益 前期比 **137.0%**

西日本を中心に日常食業態を展開するFF・R（ファストフード&レストラン）事業部では、2024年度に社内最多となる17店舗の新規出店・リニューアルを実施しました。これは当グループ内の実績26店舗中の約7割に相当し、当事業部が果たす成長牽引の役割が際立ちました。ブランド別の内訳は、「おむらいす亭」10店舗、「長崎ちゃんめん」4店舗、「あげてんや」3店舗となっており、中でも「おむらいす亭」は当社初となる沖縄エリアへの出店を果たすなど、新規マーケットへの挑戦も行いました。

また、ブランドのリブランディングにも積極的に取り組んでまいりました。「おむらいす亭」では“洋メシ”という新たなジャンルを掲げ、ロゴやユニフォームを刷新し、ブランドイメージを再構築しました。「アンニョン」は、“韓メシ・韓スイーツ”というコンセプトを打ち出し、若年層や女性を中心に認知拡大を図っています。「あげてんや」は、博多の食文化を想起させる「博多天麩羅」の冠を新たに掲げ、明太子や辛子高菜の食べ放題といった付加価値を加え、他ブランドとの差別化を強めました。

「長崎ちゃんめん」では、ロゴやユニフォームの変更に加え、茹で麺器や配膳ロボット、野菜炒め機の導入など、省人化と効率化を目指したDXを推進しました。加えて、年明けには「おむらいす亭」と「長崎ちゃんめん」で福袋の販売や、「おむらいす亭」公式アプリをリリースするなど販促面でも新たな取り組みを展開しました。



## 居酒屋・海鮮寿司業態 / 居酒屋事業部

ちゃんこ江戸沢、ヤマダモンゴル、えん屋、地魚屋、とりあえず吾平



売上 前期比 **101.1%** 経常利益 前期比 **107.8%**

居酒屋・海鮮寿司業態を展開する居酒屋事業部では、インバウンド需要の回復に対応するかたちで、接客体制やブランド訴求の強化に取り組んできました。旅行会社へのアプローチを強化し、海外からの団体ツアー客の集客に注力しました。また、人手不足対策としては、外国人社員の積極採用と育成環境の整備を進め、現場の安定的な運営体制を確立しました。

ブランド別では、ちゃんこ鍋専門店「ちゃんこ江戸沢」において、相撲文化への関心が高い外国人観光客に向けたプロモーションを強化。InstagramなどSNSでの情報発信に加え、コースメニューの多言語化をいち早く進め、観光立地での集客力を高めました。

また、ジンギスカン専門店「ヤマダモンゴル」では、約20年ぶりのリブランディングを実施。2025年3月の名古屋・新栄店、同年5月の千葉・津田沼店と、直営による連続出店を果たしました。脂肪が少なくヘルシーな「生ラム肉」を手切りし、柔らかく美味しい部分を提供するこだわりが、健康志向の女性層を中心に高い評価を受けています。イメージキャラクターによるブランドロゴの刷新や、メディア試食会を大々的に行う戦略によってメディア露出を図り、認知拡大を行いました。

また、リピーター獲得に向けたデジタル施策として、「海鮮問屋グループアプリ」の利用促進にも注力しました。クーポン配信やダウンロード特典を通じた販促を行ったことで、アプリ会員数は前年同期比14,000人増加の32,000人を突破し、顧客基盤の拡大が着実に進んでいます。



## 焼肉業態／肉匠坂井&amp;さかい事業部

## 肉匠坂井、焼肉屋さかい

売上 前期比 **101.3%** 経常利益 前期比 **100.3%**

焼肉業態において、2024年7月より、「肉匠坂井」と「焼肉屋さかい」をそれぞれ独立した事業部として再編成し、ブランドごとの戦略を明確化することで、より実効性のある運営体制を構築しました。「肉匠坂井」では、仕入れ原価の高騰に対応すべく、ブランド発足以降大幅なコース内容の見直しとそれに伴う価格改定を実施しました。さらに、ハワイフェアや韓国フェアといった期間限定メニューを積極的に展開し、バラエティ豊かな食べ放題メニューへと価値向上を追求しました。また、「肉匠坂井」、「焼肉屋さかい」共に、利便性の向上を目的に、電子決済を導入することに加え、配膳ロボット、お掃除ロボットによる省人化の推進や、外国人社員の積極採用と育成を継続的に行うことで、安定した店舗運営と人材基盤の強化にも取り組みました。



## 回転寿司業態／平禄事業部

## 平禄寿司

売上 前期比 **105.9%** 経常利益 前期比 **141.0%**

回転寿司ブランド「平禄寿司」を展開する平禄事業部は、コメの価格が高騰する厳しい状況下において4度の価格改定を行いましたが、客数を落とすことなく、堅調な業績を確保しました。関東圏ではインバウンド需要が売上を後押しし、韓国でのFC店舗のオープンによりロイヤルティ収入も増加しました。海外展開は2023年度までにタイ、台湾、そして2024年度の韓国とアジア地域への出店が進んでおります。リブランディング施策としては、9月にリニューアルオープンをした仙台新田東店において、回転レーンを廃止し特急レーンを導入、効率化と衛生面を強化しました。また、前期は新たに「590円セルフ飲み放題」を8店舗に導入し、新たな客層の取り込みにも成功しています。



## 特集

## 1 SDGs—外国人社員の活躍に向けて

当社では「持続可能な社会の実現」に向けたSDGsの取り組みの一環として、外国人社員の積極採用と、その活躍を支える環境整備に取り組んでいます。2023年度の外国人社員の採用者数41名に対し、2024年度は105名と大幅に伸ばいたしました。採用後の定着と成長を見据え、実地研修を行う専用店舗の設置や、配属後の日本語研修・接客研修など、段階的かつ体系的な教育体制を整備しています。

また、日本での生活に不安を抱える新入社員に対しては、来日から約1か月間、各国担当者が生活面を含めたきめ細かなサポートを実施しています。これらの取り組みを通して、当社で働くために来日した外国人社員の早期離職の防止と安心して働ける環境づくりに努めています。さらに、熟練した技能を持つことを証明し、より高度な仕事に就くための在留資格である「特定技能2号」取得を見据えた日本語学習支援として動画学習を導入し、継続的なスキル向上を支援しています。

受け入れ側となる日本人店長に対しても、異文化理解を深めるためのコミュニケーション研修の実施を行っており、異なる国籍でも双方が互いに尊重し合える職場づくりを目指しています。



## 2 FC出店を軸としたグローバル化

当社では、日本の多彩な食文化を世界へ届けるべく、フランチャイズ (FC) による海外展開を積極的に進めています。2024年7月には、回転寿司ブランド「平禄寿司」が韓国・ロッテワールドモールにオープンいたしました。タイ、台湾に続く4店舗目の海外出店となり、アジア圏での存在感をさらに高めています。

また、「手のひら食パンうさぎの杜ベーカリー」は2023年度より中国で展開を開始し、2024年12月には义乌之心店、上海博華広場店がオープンしました。これにより、中国国内の店舗数は4店舗となりました。

現在69ブランドを展開する当社だからこそ、各国の嗜好や市場特性に応じたブランド提案が可能であり、今後もフランチャイズ出店を軸とした効率的かつ柔軟な海外展開を進めてまいります。

「日本の食を、世界へ」——その想いを胸に、グローバル市場での当社ブランドの知名度や存在感の向上を目指していきます。



## 株式会社壁の穴



株式会社壁の穴は、創業72年、“たらこスパゲッティ発祥の店”として知られ、長年にわたり日本のパスタ文化を牽引してきた「壁の穴」のほかに、イタリアン業態の「ブコディムーロ」や「シチリアの朝市」、うどん業態の「鯉鮓の四国」など、多彩なブランドを全国に22店舗展開しています。2025年3月には大阪・阪急三番街に新店舗を出店し、「壁の穴」のブランドロゴを刷新しました。伝統を大切にしつつもブランディングによる新たな挑戦を重ねています。近年ではInstagramやTikTokなどのSNSを活用したプロモーションにも注力しており、若年層の新規ファン獲得にも成功しております。老舗ブランドとしての信頼と新しさの両立を図っています。



## 株式会社丸七



株式会社丸七は、新鮮な魚介類を使った料理や旬の一品が味わえる海鮮居酒屋とグルメ回転寿司を展開しています。2024年4月1日付で「ジャンボおしどり寿司」5店舗の事業を取得し、神奈川県下16店舗体制で運営をしています。地元漁港に買参権を持ち、物流センターと配送機能を自社に備えているため、朝獲れの新鮮な魚介類を市場や全国のネットワークから機動的な仕入れを実現しています。厳選した素材の持ち味を最大限に活かし、にぎり寿司や美味しい逸品料理の数々を手頃な価格でご用意しています。



## 株式会社タケモトフーズ



株式会社タケモトフーズは、大阪府泉佐野市にある「りんくうプレミアム・アウトレット」内で、フードコートエリアを一括運営しております。空間設計から運営までトータルに手がけ、快適で魅力ある食体験を提供しています。関西国際空港に近い立地からインバウンド需要も高まる中、2025年度にホール全体を全面リニューアルいたします。新しい食体験空間のグランドオープンにご期待ください。



## 株式会社敦煌



株式会社敦煌は、山口・広島を中心に50年以上の歴史を誇る本格中国料理専門店「敦煌」を運営しています。地元食材を活かした地産地消の料理づくりにこだわり、地域の味と文化を伝える存在として親しまれています。社長兼総料理長の村岡は、地元メディアへの出演や料理講習の開催などを通じて、地域貢献にも積極的に取り組んでいます。

## 株式会社DBT



株式会社DBTは、東京・銀座において、ミシュラン星付きフレンチレストラン「ドミニク・ブシェ トーキョー」及びミシュラン ビブグルマン掲載店「レ・コパン ドゥ ドミニク・ブシェ」を運営しています。世界的シェフ ドミニク・ブシェ氏監修のもと、上質な料理と洗練された空間を提供し、食の芸術性とホスピタリティの融合を追求しています。

## 株式会社ジー・アクアパートナーズ

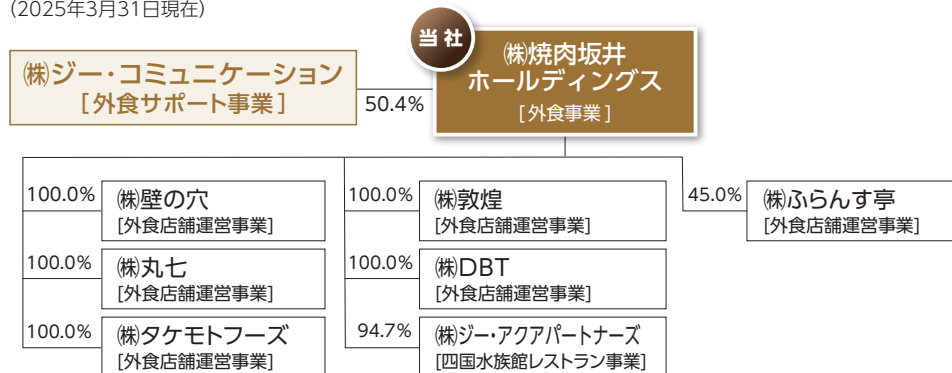


株式会社ジー・アクアパートナーズは、香川県にある「四国水族館」内にて、瀬戸内海を一望できるレストラン「キッチンせとうち」、水族館のテーマに合わせた可愛いメニューを楽しめるファストフード店「Olive」、スイーツやドリンクを提供するカフェ「PEARL CAFÉ」など飲食3店舗の一括運営を行っています。お客様が水族館での楽しいひとときを、味覚の記憶と共にお持ち帰りいただけるよう、食の体験価値を大切にメニュー開発に注力しています。

## グループ組織図

Group Organization Chart

(2025年3月31日現在)



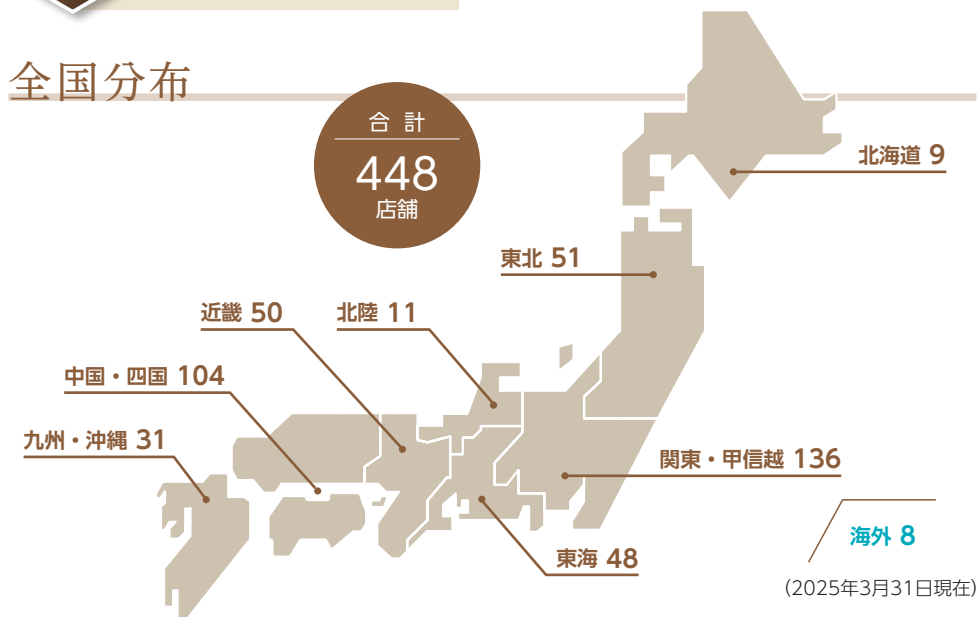
# グループ全業態一覧

Restaurant Brands

グループ業態数 **69**業態 店舗数 **448**店舗

|                                                                                                                         |                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>焼肉</b></p>  <p>7ブランド 111店舗</p>   | <p><b>和食</b></p>  <p>8ブランド 13店舗</p> |
| <p><b>回転寿司</b></p>  <p>4ブランド 46店舗</p>  | <p><b>中華</b></p>  <p>2ブランド 6店舗</p>  |
| <p><b>居酒屋</b></p>  <p>18ブランド 127店舗</p> | <p><b>麺</b></p>  <p>6ブランド 47店舗</p>  |
| <p><b>洋食</b></p>  <p>24ブランド 98店舗</p>   | <p>※当社グループで運営する提携ブランドを除く<br/>(2025年3月31日現在)</p>                                                                       |

## 全国分布



# 会社概要・株式の状況

Corporate Data

**会社概要** (2025年3月31日現在)

商号 株式会社焼肉坂井ホールディングス  
 会社設立 1959年11月25日  
 資本金 100百万円  
 事業内容 外食事業及びフランチャイズ事業

**株主メモ** (2025年3月31日現在)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月開催  
 基準日 3月31日  
 配当金の基準日 期末配当 毎年3月31日  
 中間配当 毎年9月30日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

**株式の状況** (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 673,477,576株  
 発行済株式の総数…………… 239,866,162株  
 株主数…………… 45,139名

**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内1丁目3番3号  
 みずほ信託銀行株式会社

**株主名簿管理人事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内1丁目3番3号  
 みずほ信託銀行株式会社  
 本店証券代行部

**大株主** (2025年3月31日現在)

| 株主名                                                        | 持株数<br>(千株) | 持株比率<br>(%) |
|------------------------------------------------------------|-------------|-------------|
| 株式会社ジー・コミュニケーション                                           | 118,560     | 50.35       |
| 沼田 昭二                                                      | 22,618      | 9.61        |
| 焼肉坂井ホールディングス取引先持株会                                         | 2,544       | 1.08        |
| アリアケジャパン株式会社                                               | 2,224       | 0.94        |
| 野村證券株式会社                                                   | 1,122       | 0.48        |
| 株式会社J・ART                                                  | 804         | 0.34        |
| 江川 春延                                                      | 600         | 0.25        |
| モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社                                       | 596         | 0.25        |
| BNYM SA/INV FOR BNYM FOR BNYM<br>GCM CLIENT ACCTS M ILM FE | 479         | 0.20        |
| 岡田甲子男                                                      | 400         | 0.17        |


※持株比率は自己株式(4,401千株)を控除して計算しております。

**役員・執行役員** (2025年3月31日現在)

|             |           |
|-------------|-----------|
| 代表取締役 杉本 英雄 | 監査役 間宮 友久 |
| 代表取締役 高橋 仁志 | 監査役 佐藤加代子 |
| 取締役 稲吉 史泰   | 監査役 小林 明夫 |
| 取締役 山下 淳    |           |
| 取締役 畑中 裕    |           |
| 取締役 星谷 哲男   |           |
| 執行役員 漆間 公一  |           |
| 執行役員 真弓 陽平  |           |
| 執行役員 平野 泰正  |           |
| 執行役員 永野 義和  |           |
| 執行役員 須原 啓司  |           |

**ホームページのご案内**

IR・決算情報は「IR情報」で公開しています。ぜひご覧ください。



<https://ys-holdings.co.jp/ir/>

# 株主優待制度のご案内

Shareholder Special Benefits

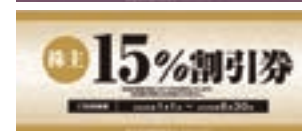
株主優待

年2回

3月末、9月末

株主様に

割当基準日において株主名簿に記載された株主の皆様に対し、下記内容にて贈呈いたします。



| 割当基準日 |                               | 3月末                                       | 9月末                      |
|-------|-------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------|
| 贈呈時期  |                               | 2025年7月上旬まで                               | 2025年12月上旬まで             |
| 1     | 100株以上、1,000株未満の株主様           | 10%割引券 2枚                                 | 10%割引券 2枚                |
| 2     | 1,000株以上、2,000株未満の株主様         | 500円分の株主優待券、10%割引券 3枚                     | 500円分の株主優待券、10%割引券 3枚    |
| 3     | 2,000株以上、5,000株未満の株主様         | 1,500円分の株主優待券、15%割引券 3枚                   | 1,000円分の株主優待券、15%割引券 3枚  |
| 4     | 5,000株以上、10,000株未満の株主様        | 4,000円分の株主優待券、15%割引券 3枚                   | 2,500円分の株主優待券、15%割引券 3枚  |
| 5     | 10,000株以上、20,000株未満の株主様       | 8,000円分の株主優待券、15%割引券 5枚                   | 5,000円分の株主優待券、15%割引券 5枚  |
| 6     | 20,000株以上、30,000株未満の株主様       | 8,000円分の株主優待券、20,000円分の特別株主優待券、15%割引券 5枚  | 5,000円分の株主優待券、15%割引券 5枚  |
| 7     | 30,000株以上、40,000株未満の株主様       | 12,000円分の株主優待券、20,000円分の特別株主優待券、15%割引券 5枚 | 7,500円分の株主優待券、15%割引券 5枚  |
| 8     | 40,000株以上、50,000株未満の株主様       | 16,000円分の株主優待券、20,000円分の特別株主優待券、15%割引券 5枚 | 10,000円分の株主優待券、15%割引券 5枚 |
| 9     | 50,000株以上、60,000株未満の株主様       | 18,000円分の株主優待券、20,000円分の特別株主優待券、15%割引券 5枚 | 12,000円分の株主優待券、15%割引券 5枚 |
| 10    | 60,000株以上の株主様                 | 20,000円分の株主優待券、20,000円分の特別株主優待券、15%割引券 5枚 | 14,000円分の株主優待券、15%割引券 5枚 |
| 11    | 保有継続期間2年以上5年未満でかつ1,000株以上の株主様 | 上記2から10に加えて一律500円分の株主優待券                  | —                        |
| 12    | 保有継続期間5年以上でかつ1,000株以上の株主様     | 上記2から10に加えて一律2,000円分の株主優待券                | —                        |

※ジー・コミュニケーショングループの店舗でご利用可能です。なお、店舗・業態によってはご利用できない場合がございますので、「ご利用店舗一覧」及び弊社ホームページにてご確認ください。

詳しくはホームページをご覧ください

<https://ys-holdings.co.jp/ir-yutai/>

